

ブリーダー放棄

報告2



前回の会報67号では、65頭全員に里親さんが決まった事を報告いたしました。

今回は、その内の3頭の幸せな様子をご紹介します。

譲渡を開始して3日目までには、63頭に里親さんが決まり、2頭だけが残りました。この2頭は衰弱が激しい為、当会が引き取りました。動物愛護センターから直行で入院した2頭は、検査と治療を終えて8月9日に退院し、自宅療養を続ける事になりました。

その後、松山市のM様が里親さんになって下さいました。M様ご夫婦は、動物愛護センターにも行かれ、この2頭を見ていたそうです。でも決心がつかず帰られたものの、どうしてもこの2頭の事が気になり、里親になろうと決心したところ、当会が引き取った事を知ってすぐに連絡を下さいました。

マル
Maru



ナナ
Nana



シーザーは目がほとんど見えず、マルチーズは乳腺腫が多数あります。2頭とも、心不全で目薬、耳の治療も毎日のことです。トイレのしつけも出来ていません。悪条件だらけの犬を出来る限りの事をしてあげたいとM様が申し出てくれました。数年前まで室内犬を4頭飼われていた方なので、犬の適正飼養もご存知の方です。

センターから引き取った時は、フン尿にまみれ、毛玉だらけだった2頭がこんなに可愛くなりました。

今現在、マルは乳腺腫瘍の切除手術も終わり、心不全のナナは歯を10本以上抜歯しました。どちらも高齢ですので、朝晩の食事以外はほとんど寝ていることが多いのですが、元気にしています。